

【100mL 製剤】

OPEN

ご使用に際して、この説明書を必ずお読み下さい。また、必要な時にすぐ読めるように大切に保管して下さい。

スプレー式鎮痛消炎剤 エアー[®]mサロバンス[®]Z

△【使用上の注意】 **第2類医薬品**

×してはいけないこと 【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。】1. 次の人は使用しないでください。(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) ぜんそくを

▼本商品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店、又は下記の「お客様相談室」までお願い申し上げます。

製造販売元 **久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408番地
https://www.hisamitsu.co.jp

お客様相談室：TEL.0120-133250
受付時間/9:00～17:50(土日・祝日・会社休日を除く)

副作用被害救済制度 **0120-149-931** 1X25HD

起こしたことがある人。(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。2. 次の部位には使用しないでください。(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 皮膚の弱い部位(顔、頰、わきの下等)。(3) 湿疹、かぶれ、傷口。(4) みずむし・たむし等又は化膿している患部。3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4. 長期連用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6 日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。【効能・効果】腰痛、筋肉痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、ねんざ【用法・用量】1 日 3～4 回、適量を患部に噴射塗布

【120mL 製剤】

OPEN

ご使用に際して、この説明書を必ずお読み下さい。また、必要な時にすぐ読めるように大切に保管して下さい。

スプレー式鎮痛消炎剤 エアー[®]mサロバンス[®]Z

△【使用上の注意】 **第2類医薬品**

×してはいけないこと 【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。】1. 次の人は使用しないでください。(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) ぜんそくを

▼本商品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店、又は下記の「お客様相談室」までお願い申し上げます。

製造販売元 **久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408番地
https://www.hisamitsu.co.jp

お客様相談室：TEL.0120-133250
受付時間/9:00～17:50(土日・祝日・会社休日を除く)

副作用被害救済制度 **0120-149-931** 3123HD

起こしたことがある人。(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。2. 次の部位には使用しないでください。(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 皮膚の弱い部位(顔、頰、わきの下等)。(3) 湿疹、かぶれ、傷口。(4) みずむし・たむし等又は化膿している患部。3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4. 長期連用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6 日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。【効能・効果】腰痛、筋肉痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、ねんざ【用法・用量】1 日 3～4 回、適量を患部に噴射塗布

起こしたことがある人。(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。2. 次の部位には使用しないでください。(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 皮膚の弱い部位(顔、頰、わきの下等)。(3) 湿疹、かぶれ、傷口。(4) みずむし・たむし等又は化膿している患部。3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4. 長期連用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6 日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。【効能・効果】腰痛、筋肉痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、ねんざ【用法・用量】1 日 3～4 回、適量を患部に噴射塗布

起こしたことがある人。(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。2. 次の部位には使用しないでください。(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 皮膚の弱い部位(顔、頰、わきの下等)。(3) 湿疹、かぶれ、傷口。(4) みずむし・たむし等又は化膿している患部。3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4. 長期連用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症
光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺光線過敏症、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素

沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6 日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。【効能・効果】腰痛、筋肉痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、ねんざ【用法・用量】1 日 3～4 回、適量を患部に噴射塗布